

平成29年度特定非営利活動に関わる事業報告書

認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会

事業の成果

(1) 定例勉強会

① 参加状況

2017年4月 ～2018年3月	年間開催 総数	スタッフ 参加数	学年別参加生徒数						参加生徒 総数
			小1	小2	小3	小4	小5	小6	
〈小学生教室〉									
火曜教室	42回	10名	2	3	1	2	1	0	9名
土曜教室	37回	15名	7	2	1	3	2	2	17名
〈中学生教室〉			中1	中2	中3	高校	既卒		
木曜教室	36回	9名	2	3	4	1	1		11名
文化ホール教室	39回	25名	8	7	16	5	2		38名
年間延べ数	154回	59名							75名

(スタッフ参加数は 代行者・学生も含む)

② 火曜教室 (小学生)

今年度スタート時は、児童8名にスタッフ4名で、スタッフがそれぞれ二人ずつの児童をみる状況で大変でしたが、1学期終わりに1名、2学期終わりに1名の修了者を出し、また2学期からスタッフも増え余裕を持った取り組みができるようになりました。

何より子どもたちが楽しい居場所としてここを認識してくれるように考え、最後の15分でカルタ、折り紙、双六などのゲームをみんなで楽しんだり、また、みんなの前で発言ができる場所になるように、書いた作文を発表したり、なぞなぞをやって答えを言ってもらったりもしました。

勉強面では宿題のサポートを中心に、児童に応じてスタッフ個々が工夫を凝らした取り組みをしました。また規律も大切にしたいと思い、最初と最後のあいさつの徹底を図りました。

③ 土曜教室 (小学生)

中国、フィリピン、ベトナムからの子ども11人、スタッフ合わせて20人からスタート。2学期には増えて合わせて30人になり、1対1や1対2で学習していくと、声が自然に大きくなり、聞き取りにくく、さらに大声を出してしまっただけで学習に集中できる環境ではなくなってきました。そのため、机の配置を変えたりして少しでも静かに学習できる場になるよう工夫しました。

更に、日本語が上手な子とそうでない子との差がかなりあり、全員で話す場では、おのずと上手な子の発言が多く、少ししかできない子は発言を控えてしまうことが多々見られるようになってきました。

会の目的、日本語の学習、居場所の提供ということに関して、スタッフでの話し合いがもたれこの会からの卒業を親・子ども・スタッフ一緒に考え促してもいいのではないかとの話も出ました。これらの問題は、今後の会の課題でもあるように思います。

④ 木曜教室（中学生）

4月学習者がいませんでした。5月中頃1人入り、教室がスタートしました。2学期は9名になり、活気が出てきました。ほぼマンツーマンのプライベートレッスンでみんな真剣そのもの。でも雰囲気はアットホームです。学校が終わって帰宅してまた教室に来るのは疲れていて大変だろうと思いますが、休まずよく通って来ました。3学期 3年生は入試に向けて主に数学と作文に取り組み、最後の最後までよく努力しました。

「おめでとう会」の日は、まだ1人決まっていませんでしたが、皆で励まし念願の高校編入が決まりました。全員合格！生徒の努力とスタッフの励ましが実を結びました。

⑤ 文化ホール教室（中学生）

4月、高校生4名を含む生徒10名でスタートし、最終的には1・2年生8名を含む25名が在籍しました。今年度の目標は、挨拶の励行（生徒）と終了時の反省と報告（スタッフ）。スタッフが担当生徒を促して、全員で起立して行き、「お願いします」と「ありがとうございました」がだんだん大きな声で言えるようになりました。

1学期から3教科のショートタイム学習を取り入れ、2学期には、漢字・数学・英語を、毎回1教科に絞って20～30分行いました。

3年生は作文にとりかかるので、教科学習は無しとしました。スタート時に自己紹介200文字をようやく書くことができた生徒が、受験までに当会作成の作文の書き方を読みながら、12の短文を作る作業を経て、400～600文字の作文力をつけていきます。

また31項目の、面接のための原稿をうめ、読む・書くをマスターして模擬面接を徹底的に行うことで、自信を培いました。

スタッフ同士の交流を図るための提案として、4月から6月まで第4週に茶話会をしました。和やかな時間を過ごすことも大切なので、継続したいと思います。

(2) 集中勉強会

① 夏休みにほんご教室

<小学生の部>

開催日	7/22（土）7/23（日）7/25（火）7/26（水）7/27（木）		
開催場所・時間	常盤平市民センター／9：30～11：30		
	生徒	スタッフ	ボランティア
参加人数	14名	14名	1名
5日間延べ参加人数	53名	41名	3名

参加者は子ども14名（内部が9名、外部が5名）スタッフ14名、ボランティア1名でした。日本語が初歩のグループと低学年、高学年の三つグループに分かれ、夏休みの宿題を中心にやりました。いちばん最初にやったフルーツバスケットが好評で、毎回リクエストされ楽しく遊びました

全員がマグカップやお皿に好きなシールを貼りオリジナル作品を完成させました。

7人の子どもの5日間参加してくれたことと、親と話す機会が持てたことが良かったです。

<中学生の部>

開催日	7/22（土）7/23（日）7/25（火）7/26（水）7/27（木）		
開催場所・時間	松戸文化ホール教室／15：30～17：30		
	生徒	スタッフ	ボランティア
参加人数	15名	14名	3名
5日間延べ参加人数	55名	40名	10名

今年度も「夏休みの宿題をやろう」と銘打って開催しました。期間中1日は理科の自由研究として「浮沈子が沈む理由」の実験を、地域の理科の先生から指導していただきました。

又「暑中見舞いを書こう」「松戸を知ろう」との小さな企画も入れ、楽しんで学習できました。

「レッツ体験」からのボランティア生徒は当会生徒より低学年の生徒もいましたが、教えるというよりは、一緒に学ぶという点で、大いに意義があったと思います。

② 日曜教室

<高校受験生の部>

開催日	10/1（日）～1/28（日）16回			
開催場所	ゆうまつど・勤労会館			
	生徒	スタッフ	学生	ボランティア
参加人数	17名	19名	2名	2名
16日間延べ参加人数	104名	122名	6名	6名

昨年に引き続き、受験生のための日曜教室を実施し、今年度は「数学」、「国語・英語」の組み合わせで、1週おきに、計16回実施しました。

生徒は少なめでしたが、指導者は生徒数を上回る参加があり、問題集、過去問、独自のプリントなどを準備し、生徒の実力に合わせて、ほぼマンツーマンで対応しました。

また今回も大学生の参加を呼びかけました。大学生は、生徒にとっての自分の将来像とも重なり、意欲的に学習できたようです。最終月には多くの生徒が試験問題への取り組みに慣れ、的確に答えられるようになりました。

③ 冬休みにほんご教室

＜高校受験生の部＞

開催日	12/23 (土) 12/24 (日) 12/26 (火) 12/27 (水) 12/28 (木) 1/4 (木)			
開催場所・時間	松戸文化ホール教室／15：30～17：30			
	生徒	スタッフ	専松高校生	専松教師
参加人数	14名	16名	6名	3名
6日間延べ参加人数	59名	50名	18名	3名

目前に迫った高校入試の準備のため、中学3年生および既卒生を対象にして6日間（毎回2時間）の教室を開催しました。公立高校の前期試験の受験科目を考慮し、「外国人特別枠」のグループと、5教科で受験する「一般受験」のグループと分かれて実施しました。

参加した生徒は、14名、スタッフは16名。このほかに、昨年に続き専修大学松戸高等学校の生徒と引率の教師がボランティアとして、毎回3-4人が参加してくれました。生徒と年齢の近い高校生の指導は大変刺激があつて、好評でした。引率の教師も、一部、面接の指導に参加してもらいました。

「外国人枠」の生徒は、受験に必要な作文と面接の訓練をしました。参加生徒は10名（パキスタン、中国、フィリピン、ネパールの出身で、来日後3年以内）、内容は600-800字の作文と、20問以上を想定した面接の応答と模擬面接。生徒たちは与えられたテーマで初めて使う原稿用紙に、慣れない日本語を駆使して一生懸命書きました。書き上げた作文は、みなの前で発表しあい、大いに切磋琢磨しました。

「一般枠」の受験生は、数学と英語を中心に、入試の過去問およびそれぞれの苦手な問題に取り組みました。参加した生徒は5名（パキスタン、ネパール、フィリピン）。対応したスタッフは、4名と高校生ボランティア3名でした。

本年進学実績（18名）・・・進学者多い順
県立松戸国際高校・柏市立柏高校・県立流山北高校・県立松戸南高校（午後部）・ 県立流山おおたかの森高校・県立流山南高校・県立沼南高校・ 県立市川工業高校（定時制）・県立生浜高校（午前部）

（3）日本語指導の研究・検討

① 小学生担当スタッフ勉強会（所；常盤平教室）

	14：00～16：00	参加	内容
第1回	5/16 (火)	7名	新しい教材の紹介、DLA「はじめの一步」説明
第2回	7/11 (火)	7名	夏休みにほんご教室の打ち合わせ
第3回	9/19 (火)	6名	夏休みにほんご教室の反省
第4回	11/21 (火)	5名	スタッフ勉強会のあり方、おやこ会の話
第5回	3/20 (火)	6名	一年間の振り返り、次年度の活動について

会を追うごとに参加者が少なくなってきたため、12月にアンケートをとった結果、半数以上の方がスタッフ勉強会が必要との回答を得ました。従来の2ヶ月に1回ではなく学期毎に1回にして、土曜日教室のスタッフが参加しやすいように、土曜日にも開くことになりました。また名称を「小学生スタッフ会議」と改名しました。

② 中学生担当スタッフ勉強会

例年通り、集中勉強会の打ち合わせや勉強会を行いました。

集中勉強会については、夏休みにほんご教室、冬休みにほんご教室および日曜教室の計画・準備や実施後の反省会を行いました。スタッフが集まっての打ち合わせは必須なので、短い時間ながらも集中的に討議しました。特に反省会で出た意見は、次年度に生かす大事な情報となります。

勉強会としては、日本語を教える時に使っている教材や漢字の指導方法の情報共有ができました。また海老名さんの長年の経験からの実践的な作文指導方法を学び、ロールプレイで先生役・生徒役を行い、実体験するという貴重な経験もできました。

③ 教室リーダーミーティング

まつど市民活動サポートセンターの伴走支援をきっかけに、①普段の教室の進め方 ②月初の打合せ状況を出し合って、現状の把握、課題の共有を図ることを目的として、5月と10月、2回開催されました。

各教室のリーダー9名が集まり、情報交換を行ないました。

しかし小・中学生担当スタッフ勉強会を充実させることが大切で、小・中学生の教室リーダー間での情報交換は必要でないとの意見が多くだされ、来年度は行わないことになりました。

(教室リーダーミーティングの名前は残し、具体的に話し合う課題がある時に開催する)

④ 外部講習会等への参加

	日にち	内容
1	平成 29 年 5 月 19 日	県立小金高校 2 年選択授業「ボランティア研究座談会」
2	平成 29 年 5 月 28 日	東京の日本語教育を考える会
3	平成 29 年 6 月 3 日	松戸市教育長・伊藤純一氏講演会
4	平成 29 年 9 月 25 日	日本語教育・嶋田和子氏講演会
5	平成 30 年 1 月 7 日	高校進学ガイダンス主催者交流会
6	平成 30 年 2 月 16 日	山本ミツシェール氏講演会
7	平成 30 年 2 月 18 日	日本語教育学会シンポジウム
8	平成 30 年 2 月 25 日	湯浅誠氏講演会
9	平成 30 年 3 月 18 日	協働まちづくりセミナー&交流会 in 松戸
10	平成 30 年 3 月 27 日	敬愛大学公開研究会

(4) 会員交流会

① スタッフ交流会

平成30年1月27日(土) 18~20時	北小金 ヒラモティ	参加 20名
----------------------	-----------	--------

新年会を兼ねてスタッフ交流会を開きました。今年は「生徒の保護者の店でやってはどうか」という提案があり、文化ホール教室3年のチェトリさん(ネパール)のご両親の店で開催することにしました。

生徒の家族とスタッフとが会う機会はありませんので、こうした試みは良い接点になりました。当日は、本場のネパール料理を味わえるということもあってか、昨年の2倍の参加者が集い、大いに語り、笑い、情報交換をし、スタッフ同士の交流も深まりました。

(5) 交流事業

① 先輩と話そう会

日 時	開催場所	参加者
平成29年6月24日(土) 15:30~17:30	ゆうまつどホール	41名
参加者内訳 27年度卒業生:2名、28年度卒業生:11名、生徒:9名、スタッフ:19名		

数か月前には 同じ教室で、机をならべていた上級生が、高校生の制服を着て目の前に姿を現しました。あれからたった3ヶ月しかたっていないはずなのにすっかり大人びてみえます。部活の話、受験の苦労話など司会者の質問に答える態度もどうどうとしていてとても頼もしい。昨年度の卒業生の特徴は、2年生から在籍した生徒も多く、日本語力がしっかり身につけているという感じがしました。

一方 在籍中の生徒達は、そんな先輩達に未来の自分を重ねることができてよい刺激を受けけたようです。おいしいケーキを食べながら、和やかな時間を一緒に過ごすことができ、楽しかったです。恒例になったこの交流会、今回の参加総数は過去最多人数でした。

② おやこ会

日 時	開催場所	参加者
平成29年12月2日(土) 12:30~14:30	ゆうまつど ホール	77名
参加者内訳:小学生20名、中学生12名、家族22名、スタッフ17名 他6名		

代表の挨拶のあと、各方面でご活躍の劇団パネルンルンに来て頂き趣向を凝らした出し物に興じ和やかなひとときでした。持ち寄ったプレゼントをお土産にあつと言う間に時間が経過しました。保護者のかたより、スタッフと歓談の機会があったらなど要望もありました。この案件は、次年度に検討していけたらと思います。

③ 進級・進学おめでとう バスハイク

日 時	行先
平成 30 年 3 月 26 日 (月) 8:00~18:00	横浜中華街～日清カップヌードルミュージアム
参加者 41 名 (内訳：小学生 14 名、中学生以上 5 名、家族 10 名、スタッフ 12 名)	

今回は中華街を歩いたり、海を見ながら芝生の上でお弁当を広げたりと、外での企画があったのでお天気が一番心配でしたが暖かく晴れ渡りました！中華街では5つの班に分かれてそれぞれがお土産をのぞいたり、肉まんを食べたりした後、地下鉄に乗ってカップヌードルミュージアムへいきました。綺麗なスタジオで粉をこね～麺に伸ばし～油で揚げて～袋詰め、チキンラーメンの出来上がるまでを体験できました。
帰りは渋滞時間にかかってしまい、予定よりだいぶ遅い到着になってしまいましたが、バスの中も楽しく過ごして全員無事かえってきました。

④ 新松戸チャリティフリーマーケットへの参加

春	平成 29 年 4 月 23 日 (日) 10:00~15:00	新松戸中央公園
秋	平成 29 年 10 月 29 日 (日) 10:00~15:00	雨天中止

春夏と年2回、20年近く参加してきた行事です。2年前までは肉まんなども販売しましたが、雨天中止なども考えて今は衣類、雑貨などとしています。
今年台風のため秋のフリマは中止で春のみとなりました。
以前は収益が目的でしたが、今は会への寄付金なども多くなっているため目的が変わってきています。参加する人も限られてきているので、今年からフリマのチラシに添えて英語、中国語で『一諸にやりませんか』と保護者にも参加を呼びかけることにしました。
今後は、スタッフの更なる参加と勉強会の親なども巻き込んで会の活動をもっと知ってもらいスタッフ、保護者間の親睦にも繋げられたらいいと思います。

(6) 広報活動

① 会報「かけはし」

今年度も「かけはし」を3回発行する事が出来ました。毎回300部印刷し、生徒、スタッフ、後援者、関係機関に配布しています。これを読んだ地域の方々からの反響もあり、特に寄付募集にも役立っています。

14号 2017年7月25日発行

高校生活、楽しそうだね — 「先輩と話そう会」 — 他

15号 2017年11月25日発行

今秋も高校受験のための日曜教室開始！ 他避難訓練実施の記事など

16号 2018年3月15日発行

試験間近の「冬休みにほんご教室」、白熱！ — 国語・英語・数学を強化 — 他

② 当法人のホームページ・フェイスブックに関する実績報告

- ・HPへの投稿は34件/2017年度、ほぼ平常通りか少ない件数と思われます。
今年度からHPに月毎の予定表（長谷部さん作成）を掲示するようになりました。
HP開設（2014/4）以来4年間でアクセスカウントは約37,000件となりました。
- ・FBへの投稿は48件/2017年度、平年に比べて少し多いと思われます。それは私以外に文化ホール教室の早川さんがまめに投稿して下さったのもあります。
また、「いいね！」件数が急激に増え、この1年間に約+230件ありました。
- ・HPの課題は、今年度は月毎の予定表以外に目新しい投稿が少なかったこと。
- ・FBの課題は、FBに関しては大人のいいね！だけでなく、会員生徒たちのいいね！とかコメント投稿があると、もっと楽しいFBサイトになるのになあ～、また、本FBを通して生徒同志の輪が広がることを期待しています。

③ 第22回松戸市国際文化祭に参加

平成29年10月14日（土）10:00～14:30	松戸市民会館
---------------------------	--------

雨天のため全体の来客はいつもより少なめでしたが、当会ブースを訪ね漢字クイズ「羊の中に犬が1匹」と「世界の挨拶言葉あてクイズ（国旗プレゼント）」に約80名がトライしてくれました。

国旗は世界196ヶ国を2ヶ国ずつプリント、同じ物のない手作り品で大好評でした。
またベトナムの子どもの手作りビーズストラップもよく売れました。

④ みらいフェスタ2018に参加

平成30年3月24日（土）10:30～15:30	松戸駅西口デッキ
--------------------------	----------

好天に恵まれ、昨年同様松戸駅西口デッキに出展しました。

①「羊のなかに犬が一匹」（100の漢字の中から他と違う漢字を1つ見つける）

②「ありがとう」「こんにちは」の言葉と国を結びつける。

200名以上の子供達がゲームに挑戦してくれました。ピカチュウのスタンプ、国旗のプレゼントも好評でした。以前学んでいた子供達も顔を見せてくれましたが、もっと多くの生徒達に参加してもらいたいと思います。